



グローバルセンターだより

Glocal Center

令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震。この3か月の間、本学では、甚大な被害を受けられた方々を支援するため、学友会はチャリティーライブを、鳥取看護大学学生赤十字奉仕団は義援金の募金活動を実施しました。また、消防防災サークルToCoToN FASTは学内全体の防災意識の向上を図るために防災グッズの展示を行いました。この度の地震により被害を受けられたみなさまへ、心よりお見舞い申し上げますとともに、ここ倉吉が『福高』出来たように、一日も早い能登の『復興』から『福興』そして『福高』を願ってやみません。



◆防災の担い手として地域へ！ ～消防防災サークルToCoToN FASTから消防団員が誕生しました！～



消防防災サークルToCoToN FASTは地域の防災活動などにも積極的に参加しており、11月4日(土)は倉吉消防署で開催された鳥取中部ふるさと広域連合消防局50周年記念イベント・消防フェアに参画しました。当日は、新聞を活用した防災グッズ作りブースを出展するとともに、イベントスタッフとしても活動し、地域の方のみならず、消防士・消防団の方とも交流しました。



また、11月23日(木・祝)には、消防団や消防団活動を知ること、地域とのつながりを構築することを目的に倉吉市の上井分団の方と交流し、格納庫の見学をはじめ操作体験、非常食を試食しながら意見交換などを行いました。

そしてなんと！サークルメンバー1名が倉吉市の消防団へ入団！年明けには早速、出初式などにも参加させていただき、学びを深めています！

鳥取県ふるさとキャリア教育の『CHA3プログラム』で中学生や地域の方とトーク！

10月18日(水)、倉吉市立東中学校で行われたCHA3(チャチャチャ)プログラムに鳥取看護大学と鳥取短期大学国際文化交流学科の学生108名が参加し、中学生や地域の方と交流しました。このプログラムは、中学生と地域の大人・大学生が少人数のグループで、働き方や生き方等のテーマに沿って自由に話す中学生のための教育プログラムとなっており、鳥取県教育委員会が「ふるさとキャリア教育」の一環として実施しています。

「自分では思いつかないような意見をたくさん聞くことができた」「自分の視野を広げることができた」「自分の傾聴力が上がった気がする」など、学生達にとっても、学びの多い時間となりました。来年度はもっとたくさんの中学生と出会っていききたいと思います。



鳥取県との保育人材養成等に関する協定締結

12月3日(日)、鳥取短期大学は鳥取県と「保育人材養成、確保及び定着と保育・幼児教育の質の向上に関する協定」を締結しました。

はじめに、本学において連携協議会を開催し、保育人材の確保・定着に向けた連携について現状や課題等の意見交換を行い、その後の協定締結式で、平井伸治知事と山田修平理事長が協定書に署名しました。

今後、鳥取短期大学は鳥取県との連携を一層強化し、保育人材の確保と定着に向けた取組みを進めていきます。



